

## 7 特別支援学校卒業者の進路状況

### (1) 都立特別支援学校（視覚障害）

#### ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 19 のとおりである。

表 19 都立特別支援学校小学部（視覚障害）：状況別卒業者数 (単位：人)

卒業年度	卒業者	都内中学校等進学者							都外中学校等進学者	その他
		計	公立	(再掲) 区市 町村立	(再掲) 都立	(再掲) 特別支援 学校中学部	国立	私立		
平成30	10	9	7	1	-	6	2	-	1	-
令和元	10	10	9	-	-	9	1	-	-	-
2	14	14	10	-	-	10	4	-	-	-
3	14	13	12	-	-	12	1	-	-	1
4	19	19	19	1	-	18	-	-	-	-
<b>5</b>	<b>12</b>	<b>12</b>	<b>12</b>	-	-	<b>12</b>	-	-	-	-

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

#### イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 20 のとおりである。

表 20 都立特別支援学校中学部（視覚障害）：状況別卒業者数 (単位：人、%)

卒業年度	卒業者	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
平成30	18	18	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
令和元	25	25	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
2	19	19	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
3	10	10	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
4	12	12	-	-	-	-	-	-
	(100.0)	(100.0)	-	-	-	-	-	-
<b>5</b>	<b>15</b>	<b>15</b>	-	-	-	-	-	-
	<b>(100.0)</b>	<b>(100.0)</b>	-	-	-	-	-	-

注) 文部科学省の学校基本調査の項目変更を踏まえて、令和元年度卒業者から「就業者」は「就職者等」となった。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

#### ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 21 のとおりである。

卒業者 29 人のうち、進学者は 5 人（卒業者の 17.2%）で、内訳は「大学」が 4 人、「特別支援学校専攻科」が 1 人となっている。

就職者等は 10 人（卒業者の 34.5%）で、雇用形態別に見ると、「自営業主等」が 1 人、「無期雇用労働者」が 2 人、「有期雇用労働者 a」が 7 人となっている。職業別に見ると、「あんま・はり師・指圧・きゅう師・マッサージ」が 5 人、「事務」が 5 人となっている。

注) 「有期雇用労働者 a」とは、雇用契約期間の定めが 1 年以上かつ週の労働時間が 30 時間以上の者を指す。

表 21 都立特別支援学校高等部（視覚障害）：状況別卒業生数

(単位：人、%)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
平成30	26 (100.0)	5 (19.2)	1 (3.8)	7 (26.9)	8 (30.8)	5 (19.2)	-	-
令和元	32 (100.0)	7 (21.9)	2 (6.3)	7 (21.9)	8 (25.0)	8 (25.0)	-	-
2	27 (100.0)	6 (22.2)	1 (3.7)	10 (37.0)	3 (11.1)	7 (25.9)	-	-
3	30 (100.0)	12 (40.0)	-	12 (40.0)	3 (10.0)	3 (10.0)	-	-
4	33 (100.0)	7 (21.2)	-	13 (39.4)	8 (24.2)	5 (15.2)	-	-
<b>5</b>	<b>29</b> <b>(100.0)</b>	<b>5</b> <b>(17.2)</b>	<b>-</b>	<b>9</b> <b>(31.0)</b>	<b>10</b> <b>(34.5)</b>	<b>5</b> <b>(17.2)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 37・38・40・41 表参照)

## (2) 都立特別支援学校（聴覚障害）

## ア 小学部の状況

卒業生の進路状況は、表 22 のとおりである。

表 22 都立特別支援学校小学部（聴覚障害）：状況別卒業生数

(単位：人)

卒業年度	卒業生	都内中学校等進学者							都外中 学校等 進学者	その他
		計	公立	(再掲) 区市 町村立	(再掲) 都立	(再掲) 特別支援 学校中学部	国立	私立		
平成30	39	37	35	2	-	33	-	2	2	-
令和元	39	39	36	1	-	35	2	1	-	-
2	38	38	36	-	-	36	2	-	-	-
3	38	37	35	-	-	35	-	2	1	-
4	38	37	37	1	-	36	-	-	1	-
<b>5</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>34</b>	<b>1</b>	<b>-</b>	<b>33</b>	<b>-</b>	<b>1</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

## イ 中学部の状況

卒業生の進路状況は、表 23 のとおりである。

表 23 都立特別支援学校中学部（聴覚障害）：状況別卒業生数

(単位：人、%)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
平成30	54 (100.0)	54 (100.0)	-	-	-	-	-	-
令和元	51 (100.0)	50 (98.0)	-	-	1 (2.0)	-	-	-
2	47 (100.0)	47 (100.0)	-	-	-	-	-	-
3	41 (100.0)	41 (100.0)	-	-	-	-	-	-
4	43 (100.0)	42 (97.7)	-	-	1 (2.3)	-	-	-
<b>5</b>	<b>38</b> <b>(100.0)</b>	<b>38</b> <b>(100.0)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

## ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 24 のとおりである。

卒業者 71 人のうち、進学者は 36 人（卒業者の 50.7%）で、内訳は「大学」が 19 人、「特別支援学校専攻科」が 17 人となっている。

就職者等は 25 人（卒業者の 35.2%）で、雇用形態別に見ると、「無期雇用労働者」が 12 人、「有期雇用労働者 b」が 13 人となっている。職業別に見ると、「事務」が 14 人、「販売」が 2 人、「技能工等」が 2 人、「サービス職業」が 7 人となっている。

注）「有期雇用労働者 b」とは、雇用契約期間の定めが 1 年以上かつ週の労働時間が 30 時間未満の者又は雇用契約期間の定めが 1 か月以上 1 年未満の者を指す。

表 24 都立特別支援学校高等部（聴覚障害）：状況別卒業生数（単位：人、%）

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就職している者
平成30	77	38	2	6	29	2	-	-
	(100.0)	(49.4)	(2.6)	(7.8)	(37.7)	(2.6)	-	-
令和元	67	28	3	5	25	2	4	-
	(100.0)	(41.8)	(4.5)	(7.5)	(37.3)	(3.0)	(6.0)	-
2	57	38	2	3	14	-	-	-
	(100.0)	(66.7)	(3.5)	(5.3)	(24.6)	-	-	-
3	64	39	3	5	17	-	-	-
	(100.0)	(60.9)	(4.7)	(7.8)	(26.6)	-	-	-
4	63	29	5	7	19	3	-	-
	(100.0)	(46.0)	(7.9)	(11.1)	(30.2)	(4.8)	-	-
<b>5</b>	<b>71</b>	<b>36</b>	-	<b>7</b>	<b>25</b>	<b>3</b>	-	-
	<b>(100.0)</b>	<b>(50.7)</b>	-	<b>(9.9)</b>	<b>(35.2)</b>	<b>(4.2)</b>	-	-

注）「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

（Ⅲ統計表：第 37・38・40・41 表参照）

### (3) 都立特別支援学校（肢体不自由）

#### ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 25 のとおりである。

表 25 都立特別支援学校小学部（肢体不自由）：状況別卒業生数（単位：人）

卒業年度	卒業生	都内中学校等進学者						都外中学校等進学者	その他
		計	公立	(再掲)区市町村立	(再掲)都立	(再掲)特別支援学校中学部	国立		
平成30	121	121	121	2	-	119	-	-	-
令和元	155	155	155	2	-	153	-	-	-
2	161	161	161	-	-	161	-	-	-
3	179	179	179	1	-	178	-	-	-
4	151	150	149	-	-	149	1	-	1
<b>5</b>	<b>143</b>	<b>143</b>	<b>143</b>	<b>2</b>	-	<b>141</b>	-	-	-

（Ⅲ統計表：第 30 表参照）

## イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 26 のとおりである。

表 26 都立特別支援学校中学部（肢体不自由）：状況別卒業生数（単位：人、%）

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
平成30	140 (100.0)	136 (97.1)	-	-	-	4 (2.9)	-	-
令和元	164 (100.0)	161 (98.2)	-	-	-	1 (0.6)	2 (1.2)	-
2	142 (100.0)	141 (99.3)	-	-	-	1 (0.7)	-	-
3	136 (100.0)	135 (99.3)	-	-	-	1 (0.7)	-	-
4	160 (100.0)	157 (98.1)	-	1 (0.6)	-	2 (1.3)	-	-
<b>5</b>	<b>178</b> <b>(100.0)</b>	<b>174</b> <b>(97.8)</b>	-	-	-	<b>4</b> <b>(2.2)</b>	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

## ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 27 のとおりである。

卒業生 151 人のうち、社会福祉施設入所・通所者が最も多く 135 人で、卒業生に占める割合は、89.4%となっている。社会福祉施設入所・通所者のうち在学中から入所・通所している者が 9 人（社会福祉施設入所・通所者のうち 6.7%）となっている。

表 27 都立特別支援学校高等部（肢体不自由）：状況別卒業生数（単位：人、%）

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
平成30	186 (100.0)	1 (0.5)	3 (1.6)	171 (91.9)	5 (2.7)	6 (3.2)	-	-
令和元	184 (100.0)	10 (5.4)	2 (1.1)	155 (84.2)	6 (3.3)	11 (6.0)	-	-
2	201 (100.0)	2 (1.0)	2 (1.0)	182 (90.5)	5 (2.5)	10 (5.0)	-	-
3	153 (100.0)	4 (2.6)	2 (1.3)	136 (88.9)	5 (3.3)	6 (3.9)	-	-
4	176 (100.0)	6 (3.4)	2 (1.1)	154 (87.5)	4 (2.3)	10 (5.7)	-	-
<b>5</b>	<b>151</b> <b>(100.0)</b>	<b>3</b> <b>(2.0)</b>	<b>1</b> <b>(0.7)</b>	<b>135</b> <b>(89.4)</b>	<b>6</b> <b>(4.0)</b>	<b>6</b> <b>(4.0)</b>	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 37 表参照)

(4) 都立特別支援学校(知的障害)

ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 28 のとおりである。

表 28 都立特別支援学校小学部(知的障害): 状況別卒業生数 (単位: 人)

卒業年度	卒業生	都内中学校等進学者							都外中学校等進学者	その他
		計	公立	(再掲) 区市 町村立	(再掲) 都立	(再掲) 特別支援 学校中学部	国立	私立		
平成30	449	448	447	3	-	444	1	-	1	-
令和元	465	462	450	2	-	448	11	1	2	1
2	524	524	524	1	-	523	-	-	-	-
3	518	516	515	3	-	512	-	1	2	-
4	566	560	560	2	-	558	-	-	6	-
<b>5</b>	<b>622</b>	<b>621</b>	<b>621</b>	<b>2</b>	<b>-</b>	<b>619</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>1</b>	<b>-</b>

(Ⅲ統計表: 第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 29 のとおりである。

表 29 都立特別支援学校中学部(知的障害): 状況別卒業生数 (単位: 人、%)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者 のうち就職 している者
平成30	505	502	-	-	-	3	-	-
	(100.0)	(99.4)	-	-	-	(0.6)	-	-
令和元	500	498	1	-	-	1	-	-
	(100.0)	(99.6)	(0.2)	-	-	(0.2)	-	-
2	529	528	-	-	-	1	-	-
	(100.0)	(99.8)	-	-	-	(0.2)	-	-
3	600	596	-	-	1	3	-	-
	(100.0)	(99.3)	-	-	(0.2)	(0.5)	-	-
4	598	595	-	1	-	2	-	-
	(100.0)	(99.5)	-	(0.2)	-	(0.3)	-	-
<b>5</b>	<b>676</b>	<b>674</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>-</b>
	<b>(100.0)</b>	<b>(99.7)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>(0.1)</b>	<b>(0.1)</b>	<b>-</b>

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表: 第 31 表参照)

ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 30 のとおりである。

卒業者は 1,496 人のうち、社会福祉施設入所・通所者が 720 人(卒業者の 48.1%)と最も多く、次いで就職者等が 705 人(卒業者の 47.1%)となっている。

就職者等を雇用形態別に見ると「有期雇用労働者 a」が最も多く 317 人(就職者等の 45.0%)となっている。職業別に見ると「サービス職業」が最も多く 369 人(就職者等の 52.3%)となっている。

表 30 都立特別支援学校高等部（知的障害）：状況別卒業生数 (単位：人、%)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就職している者
平成30	1,634 (100.0)	3 (0.2)	5 (0.3)	765 (46.8)	811 (49.6)	49 (3.0)	1 (0.1)	-
令和元	1,610 (100.0)	2 (0.1)	7 (0.4)	750 (46.6)	804 (49.9)	46 (2.9)	1 (0.1)	-
2	1,594 (100.0)	2 (0.1)	11 (0.7)	743 (46.6)	787 (49.4)	51 (3.2)	-	-
3	1,451 (100.0)	2 (0.1)	6 (0.4)	720 (49.6)	678 (46.7)	45 (3.1)	-	-
4	1,425 (100.0)	6 (0.4)	6 (0.4)	691 (48.5)	652 (45.8)	70 (4.9)	-	-
<b>5</b>	<b>1,496</b> <b>(100.0)</b>	<b>1</b> <b>(0.1)</b>	<b>7</b> <b>(0.5)</b>	<b>720</b> <b>(48.1)</b>	<b>705</b> <b>(47.1)</b>	<b>62</b> <b>(4.1)</b>	<b>1</b> <b>(0.1)</b>	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。(Ⅲ統計表：第 37・40・41 表参照)

(5) 都立特別支援学校（病弱）

ア 小学部の状況

卒業生の進路状況は、表 31 のとおりである。

表 31 都立特別支援学校小学部（病弱）：状況別卒業生数 (単位：人)

卒業年度	卒業生	都内中学校等進学者							都外中学校等進学者	その他
		計	公立	(再掲)区市町村立	(再掲)都立	(再掲)特別支援学校中学部	国立	私立		
平成30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和元	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	2	2	2	-	-	2	-	-	-	-
<b>5</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	-	-	<b>3</b>	-	-	-	-

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

イ 中学部の状況

卒業生の進路状況は、表 32 のとおりである。

表 32 都立特別支援学校中学部（病弱）：状況別卒業生数 (単位：人、%)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校等入学者	社会福祉施設入所、通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学者のうち就職している者
平成30	2 (100.0)	2 (100.0)	-	-	-	-	-	-
令和元	2 (100.0)	2 (100.0)	-	-	-	-	-	-
2	2 (100.0)	2 (100.0)	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-
4	1 (100.0)	1 (100.0)	-	-	-	-	-	-
<b>5</b>	<b>3</b> <b>(100.0)</b>	<b>3</b> <b>(100.0)</b>	-	-	-	-	-	-

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。(Ⅲ統計表：第 31 表参照)

## ウ 高等部の状況

卒業者の進路状況は、表 33 のとおりである。

卒業者 3 人は、社会福祉施設入所・通所者が 2 人、在家庭者が 1 人となっている。

表 33 都立特別支援学校高等部（病弱）：状況別卒業生数 (単位：人、%)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学 者のうち就職 している者
平成30	3 (100.0)	1 (33.3)	-	1 (33.3)	1 (33.3)	-	-	-
令和元	4 (100.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	-	1 (25.0)	-	-
2	4 (100.0)	-	-	3 (75.0)	-	1 (25.0)	-	-
3	1 (100.0)	-	-	-	-	1 (100.0)	-	-
4	6 (100.0)	2 (33.3)	-	2 (33.3)	-	2 (33.3)	-	-
<b>5</b>	<b>3</b> <b>(100.0)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>2</b> <b>(66.7)</b>	<b>-</b>	<b>1</b> <b>(33.3)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 37 表参照)

## (6) 区立特別支援学校

### ア 小学部の状況

卒業者の進路状況は、表 34 のとおりである。

表 34 区立特別支援学校小学部：状況別卒業生数 (単位：人)

卒業年度	卒業生	都内中学校等進学者							都外中 学校等 進学者	その他
		計	公立	(再掲) 区市 町村立	(再掲) 都立	(再掲) 特別支援 学校中学部	国立	私立		
平成30	38	37	36	18	-	18	-	1	1	-
令和元	39	38	36	22	-	14	-	2	1	-
2	32	32	30	19	-	11	-	2	-	-
3	40	39	39	23	-	16	-	-	1	-
4	31	31	31	10	-	21	-	-	-	-
<b>5</b>	<b>48</b>	<b>46</b>	<b>46</b>	<b>23</b>	<b>-</b>	<b>23</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>2</b>	<b>-</b>

(Ⅲ統計表：第 30 表参照)

### イ 中学部の状況

卒業者の進路状況は、表 35 のとおりである。

表 35 区立特別支援学校中学部：状況別卒業生数 (単位：人、%)

卒業年度	卒業生	進学者	専修学校 等入学者	社会福祉 施設入所、 通所者	就職者等	在家庭者	その他	(再掲)進学 者のうち就職 している者
平成30	11 (100.0)	11 (100.0)	-	-	-	-	-	-
令和元	18 (100.0)	18 (100.0)	-	-	-	-	-	-
2	20 (100.0)	20 (100.0)	-	-	-	-	-	-
3	24 (100.0)	23 (95.8)	-	-	-	1 (4.2)	-	-
4	17 (100.0)	17 (100.0)	-	-	-	-	-	-
<b>5</b>	<b>18</b> <b>(100.0)</b>	<b>18</b> <b>(100.0)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

注) 「進学者」には「進学者のうち就職している者」を含む。

(Ⅲ統計表：第 31 表参照)